

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県相生市 相生市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
直営	9	-	ド訓	-
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
27,974	3,424	第2種該当	-	10:1

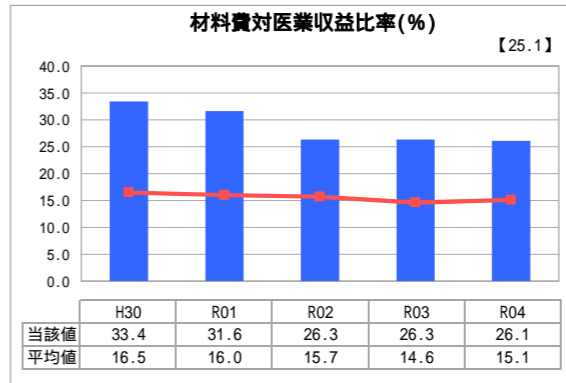
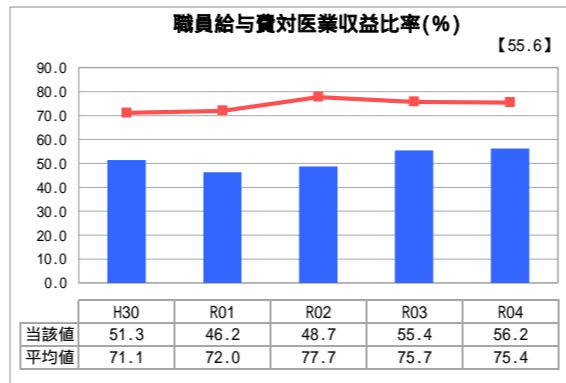
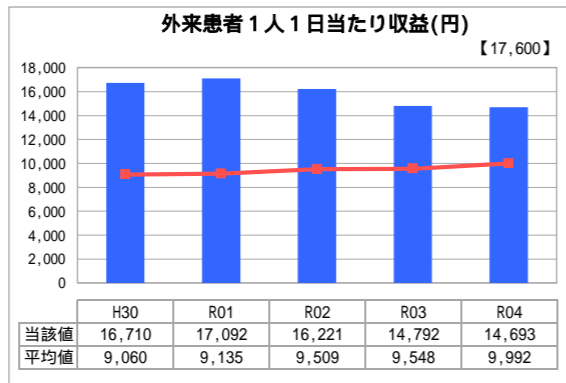
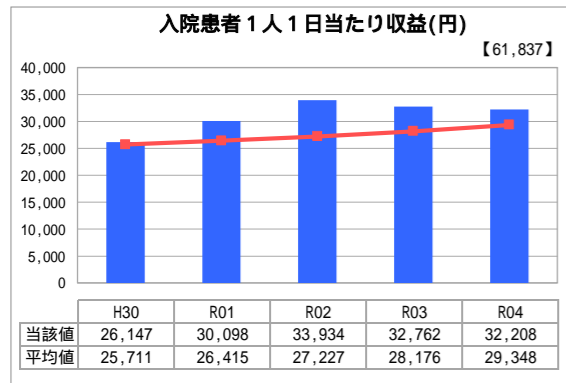
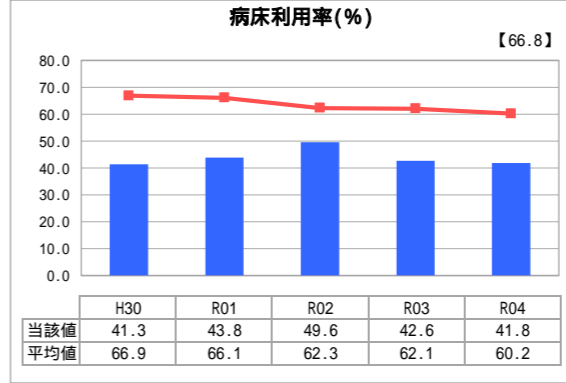
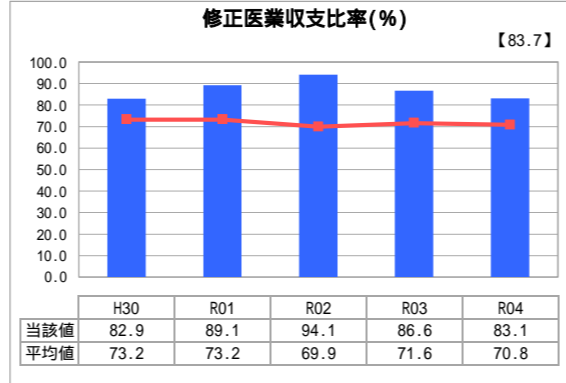
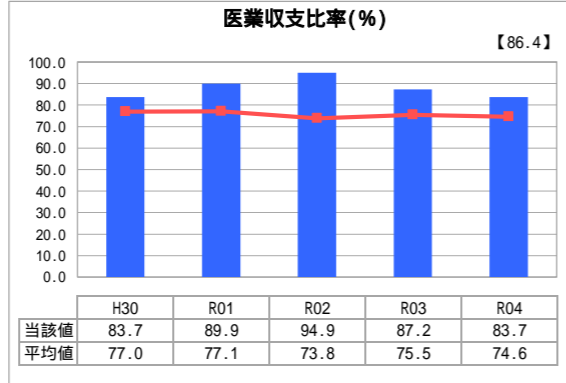
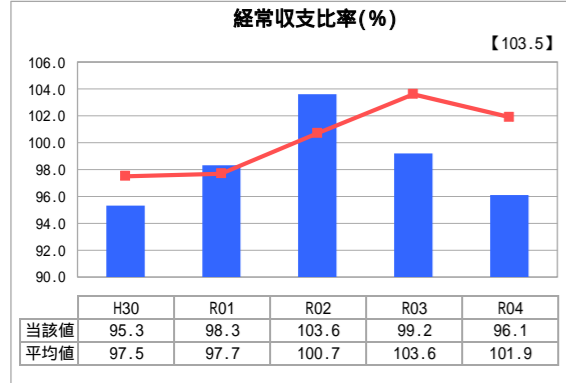
1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療

2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
55	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	55
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
35	-	35

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
-	類似病院平均値(平均値)
【】	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

地域において担っている役割

地域に密着した医療提供ができる病院として、軽症急性期、亜急性期医療を行うとともに、訪問診療、訪問介護等の在宅医療にも重点を置き高齢者が安心して生活できる役割を担う。

分析欄

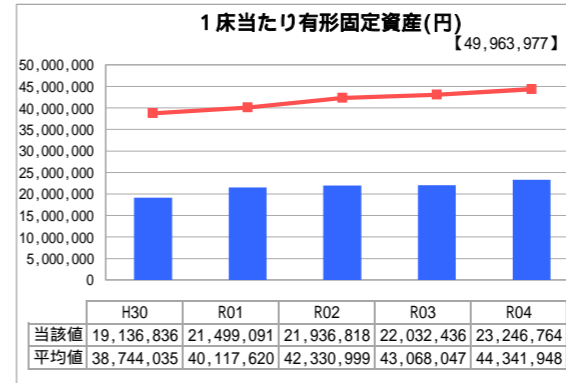
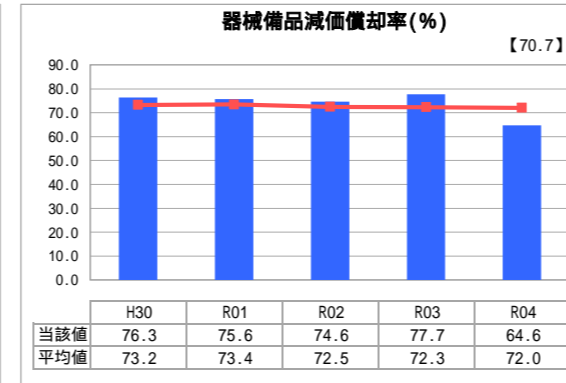
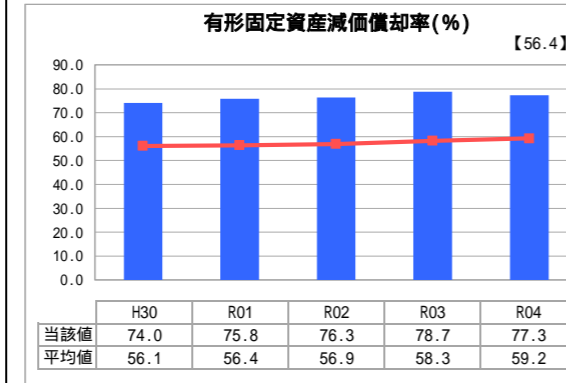
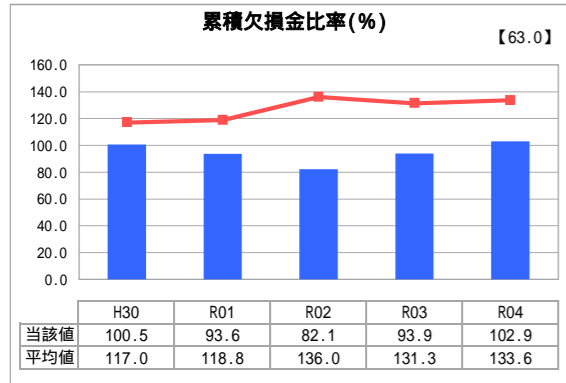
1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度より導入した地域包括ケア病床により入院収益が増加し経営改善に繋がったが新型コロナ感染症等の影響もあり令和3年度以降入院患者が減少し赤字に転じた。
病床利用率は他団体と比べて低い数値であるが稼働病床ベースで算出すると65.9%である。
職員給与比率は、常勤医師が2名であることから他団体と比べ低い数値になっている。
外来患者1人当たり収益、材料費対医療収支比率が高い数値であるが当院が内科系疾患患者が多く長期処方が多いことが影響している。

2. 老朽化の状況について

当院は昭和58年築であり有形固定資産減価償却費率及び機器備品減価償却率高い水準で推移している。
医療機器については計画的に更新行っている。施設の大規模改修については市からの繰入金と調整を行いながら実施することとしている。令和5年度から空調設備の更新を行う。

2. 老朽化の状況



全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響により入院患者が減少し経営状況が悪化している。
経営強化プランによる各種の取組により持続可能な運営を目指し地域住民が安心して医療が受けられる体制を確保する。

「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。